

医学研究実施のお知らせ

本学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】 新たな脳卒中急性期診療体制に関する研究

【研究の概要】

研究の目的

近年、脳卒中診療は tPA 静注療法やカテーテルを用いた血栓回収術などの再灌流療法が盛んに行われており来院から再灌流療法開始までの時間が早期であればあるほど患者転帰が良好となることが広く知られています。当院脳卒中センターでは脳卒中急性期診療を円滑に進める、ストロークコーディネーター^{1*}（2015年10月から）と ICT アプリケーション^{2*}（Join[®]：2014年9月から）を導入し、来院から治療開始までの時間を短縮するよう努めてまいりました。本研究はこの新たな診療体制が来院から治療開始までの時間を短縮できているか、並びに脳卒中患者の転帰にどのような影響を与えているかを明らかにする研究です。

【補足】

1* ストロークコーディネーター：脳卒中診療に精通した看護師であり脳卒中診療を行う医師をサポートする役割を担う。具体的には診察、搬送、医療行為の準備、入院手続きなど診療補助を行う。

2* ICT アプリケーション：院内スマートフォンに搭載されたアプリケーションであり、利用者内で臨床情報（病歴、診察、画像など）をシームレスに共有するためのツールである。

研究期間

承認日～2026年9月30日まで、研究の実施を予定しています。

対象となる方等

研究機関：☑附属病院 葛飾医療センター 第三病院 柏病院

対象となる方：脳卒中の患者さんで、2012年4月1日から2026年9月30日まで当院当科へ入院された皆さんです。

研究に利用する情報

情報：患者基本情報、臨床症状、血液・尿検査所見、生理検査、画像検査所見、ストロークコーディネーター介入の有無、Join[®]介入の有無などが含まれます。

他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する方法

本研究には該当いたしません

【問い合わせ先（対応時間：平日 09:00 ~ 17:00）】

東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科

研究代表者：坂井 健一郎

電話： 03-3433-1111（代表）（内線：3282）

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。